

The Progressive Baroque Live

チケット
ぴあ

Pコード

334-835



in Fukuoka 2026

— 温故知新で深化する音楽
時を超えて響くヨーロッパ音楽は
こんなにもポップだ! —

2026
11.7 [sat]

[開場] 14時30分

[開演] 15時00分

あいれふホール

福岡市健康づくり
サポートセンター10F
(福岡市中央区舞鶴2丁目5-1)

曲目

Pedro de Araujo : Batalha de 6 tom
ペドロ・デ・アラウホ: 第6旋法による「戦い」

Tarquinio Merula : Canzone La Caravaggia
タルクイーニオ・メールラ: 2声のカンツォーネ「ラ・カラヴァッジャ」

J.H.Schein : Banchetto Musicale Suite 6
J.H.シャイン: 音楽の饗宴 組曲第6番

M.Praetorius : O Lux beata Trinitas
M.プレトリウス: おお、聖なる光 三位一体よ

古橋 潤一
(リコーダー)

えりP
(リコーダー)

川久保 洋子
(ヴァイオリン)

丹沢 広樹
(ヴァイオリン)

小貫 詠子
(チェロ)

能登 伊津子
(オルガン)

HAMA
(パーカッション)

神野 和美
(リコーダー)

渡辺 浩行
(リコーダー)

メディアファイブ株式会社

Q-Board
(銘柄コード3824)



主な事業

- ・システム受託開発(SI)
- ・システムエンジニアリングサービス(SES)
- ・ITアウトソーシング「オフィスドクター」
- ・プログラミングスクール「アキバ・テックドリーム・アカデミー」

福岡本社

福岡市中央区薬院1-1-1 薬院ビジネスガーデン6階

チケット

全席自由 | 当日: 4,500円 / 前売: 4,000円
(ペア割(2枚組): 6,000円 / 学割あり)

主催

メディアファイブ株式会社 コンサート実行委員会

後援

福岡市 / (公財)福岡市文化芸術振興財団 /
新・福岡古楽音楽祭

お問合せ

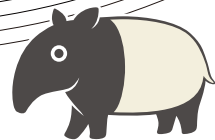
電話: 0120-262-242 (担当: 中島)
Eメール: m5concert@media5.co.jp

詳細は
こちら!



Presented by Media Five Co.

The Progressive Baroquers Live in Fukuoka 2026



— 温故知新で深化する音楽 時を超えて響くヨーロッパ音楽はこんなにもポップだ! —



古橋 潤一(リコーダー)

桐朋学園大学音楽学部古楽器科卒業。第30回ブルージュ国際古楽コンクール入選。17世紀イタリア・スペインの音楽を主に演奏するアンサンブル、メディオ・レジストロ主宰。

CD『メディオ・レジストロ』『スパニッシュ・プログレッシヴ・バロック』リリース、好評を博した。また、2022年には松竹制作の舞台『陰陽師生なり姫』の音楽監督、編曲等をつとめ、活動の幅を広げている。桐朋学園大学古楽器科非常勤講師。



川久保 洋子(ヴァイオリン)

東京出身、フランスリヨン在住。室内楽やオーケストラで多彩に活動するだけでなく、自身のアンサンブルEnsemble Les Timbresレ・タンブル <https://les-timbres.com> ではブルージュ国際古楽コンクール優勝、リリースしたCDは次々とフランス音楽誌Diapasonで金賞を受賞、その他にもミニオペラ、スペクタクルコンサートなど幅広いプログラムを展開してヨーロッパ各地で演奏活動をしている。2006年よりGli Incognitiのメンバー、Ensemble Pygmalion、Le Caravansérail、El Gran Teatro del Mundo、Le Poeme Harmonique、Bach Collegium Japan、Medio Registro、Ensemble Marquiseなど国内外で活動。2021年よりリヨン地方音楽院の教員となる。桐朋学園、東京芸術大学、フランス国立リヨン高等音楽学院出身。



小貫 詠子(チェロ)

都立芸術高等学校を経て東京芸術大学卒業。同大学大学院修士課程修了。在学中、室内楽定期演奏会オーディション合格。(旧)ドイツ国立アウグスブルグ・ニュルンベルグ音楽大学卒業。室内楽に於いて松尾音楽奨励賞、リゾナーレ音楽祭にてマイカル賞授与。

オホーツク音楽祭、湯布院音楽祭に出演。大竹しのぶ主演の舞台「エディット・ピアフ」のチェロを担当。チェロを向山規矩子氏、河野文昭氏、マルクス・ワーグナー氏に師事。現在、埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科チェロ講師。バンベルク東京カルテット、フィオーリカルテットのメンバー。



HAMA(パーカッション)

バリ・ガムラン、アラブ・パーカッション奏者。ガムランを皆川厚一、パーカッションを和田啓に師事し「滞空時間」「SAICOBAB」などで活動。2025年4月から東京西荻窪のライブハウス「ボイラー室」の店長としても奮闘中。

NODA・MAP第22回公演「贋作 桜の森の満開の下」劇中曲への参加や、劇団四季ミュージカル「南十字星」のガムラン演奏指導など、舞台芸術などへの参加も多い。民族音楽や古典という枠にとらわれず様々なジャンルで活動し、高い評価を得ている。



えりP(リコーダー)

鹿児島大学(専攻:理学部数学科)在学中『鹿児島リコーダーアンサンブル』を結成し演奏活動を行う。卒業後はITプログラマーを経て、1996年(有)メディアファイブを設立。2006年には福岡証券取引所Q-Boardに上場。現メディアファイブ(株)代表取締役会長。2021年4月桐朋学園大学音楽学部CD(カレッジ・ディプロマ)コース古楽器専攻(リコーダー)に入学。2024年3月同コースを首席で修了。古橋潤一氏に師事。ボカロPとして、YouTubeチャンネル『ほっちバロック (https://www.youtube.com/@Lone_Baroque)』に作品を展開中。



丹沢 広樹(ヴァイオリン)

2000年より国内外で研鑽を積む。08年「Cembarism!!」の録音に参加、NHK-FMに収録曲で生出演。同年「Sonar Cantando」での公演が月刊『音楽の友』誌上で「国内の年間コンサートベスト10」に選ばれ、2010～12年伊ブレイシア国際音楽祭に招聘される。

2019年にはBuxtehudeの宗教大作『Membra Jesu Nostri』を静岡音楽館AOIで手掛ける。ヴァイオリン、ヴィオラ、小型の肩掛けチェロ奏者として様々な公演、収録に参加。



能登 伊津子(オルガン)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科、グレゴリオ音楽院オルガン本科、同専攻科卒業。1994年白川イタリアオルガン音楽アカデミーに於てピストリア賞受賞、翌年イタリアピストリアオルガン音楽アカデミーに招待される。

1998年スペイン政府より奨学金を得てダローカ国際古楽セミナーに参加。オルガン&チェンバロの、ソリスト、通奏低音奏者として活躍中である。CD「メディオ・レジストロ」「スパニッシュ・プログレッシヴ・バロック」(レコード芸術誌準特選盤)をリリース。

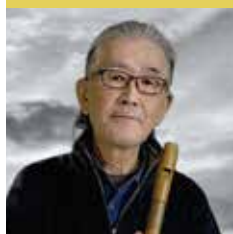


神野 和美(リコーダー)

リコーダー奏者、合唱指揮、音楽講師。桐朋学園大学古楽器科・リコーダー専攻後、ハンガリーへ留学。

リスト音楽院・ELTEブダペスト大学音楽科にて、合唱指揮や音楽教授法を学ぶ。帰国後、古楽器や合唱指揮の演奏活動のほか、教育の分野では、特にコダーイの理念である、わらべうたからの子どもの教育に関心をもち、全国各地に講演や研修に出向いている。

国際コダーイ協会会員、日本コダーイ協会会長。プラトン音楽院代表。平成音楽大学講師、福岡音楽学院評議員、全音・鈴木楽器講師。遊びの施設「あそびたいけんミルキーウェイ」の乳幼児スタッフ運営事務局長。



渡辺 浩行(リコーダー)

小学校の授業で接したリコーダーに魅了され、独学で研鑽を積む。高校時代にはクラブ活動でリコーダーコンソートに親しみ、その後も地域の古楽愛好家との交流の中で、音楽活動に精励した。福岡古楽音楽祭など、各地の音楽祭で演奏を行うほか、ダン・ラウリン氏、山岡重治氏など著名な演奏家のマスタークラスに参加、またフラウト・トラヴェルソを前田り子氏、古楽アンサンブルを濱田芳通氏、ヴィオラ・ダ・ガンバを田中孝子氏に師事するなど、リコーダーを含む古楽一般に精進している。

中学校の学外講師、地域カルチャーセンター講師、福岡県中学校リコーダーアンサンブル審査員など務めるほか、リコーダーコンソート、古楽アンサンブルなど、各地の音楽活動に参加している。